



2018年2月版(第55号)
 まちづくりNPO法人ぐるっと緑道
 横浜市都筑区中川 1-18-5
 フィットネスハウス パレット中川1F
 発行責任者
 塩入広中(090-7275-1361)
<http://guruttoryokudo.jp>

更に役立つ「ほっとカフェ中川」を検討

「ほっとカフェ中川」は、7年前に「中川駅前商業地区を元気にするため、地域住民の交流や気楽に話しの出来るカフェが欲しい」という地域の皆さんの希望で検討を始めました。フィットネスハウスパレット中川さんの協力のもと、昨年の10月で開店6周年を迎えました。この6年間、多くのボランティアスタッフの皆さんに支えられ、カフェの運営はもとより、花と緑のまちづくりの「中川ルネッサンスプロジェクト」でも中心的な役割を果たし、その目標は達成しつつあります。

「ほっとカフェ中川」は飲食を提供する普通のカフェではありません。誰でも気楽に入れ、楽しく交流を広げ、互いに協力し合い、地域や個人の問題を解決したり、生きがいを見つけたりするような空間でありたい、と考えています。

2018年の春は、より一層「ほっとカフェ中川」の運営や活動内容をステップアップするため、その検討期間とします。「ほっとカフェ中川」という場所を使って、やってほしい、やってみたいと思われる方は是非ご参加ください。

ステップアップ・カフェ(誰でも参加できます)

- ① 2月20日(火)13時-15時
対象: 定年後の男性
- ② 2月24日(土)13時-15時
対象: 子育て中のママ

場所: ほっとカフェ中川

申込: 070-5545-8107(ほっとカフェ中川)

上記以外で、ご興味のある方は「ほっとカフェ中川」又は塩入(090-7275-1361)までご連絡ください。



国際交流カフェ

＜コミュニティカフェとは＞

コミュニティカフェとは、公益社団法人長寿社会文化協会(WAC)により提案され、『地域社会の中で「たまり場」「居場所」と定義されています。現在、全国で、人と人を結ぶ場としての「コミュニティカフェ」が開かれています。コミュニティカフェは、市民の出会いと交流の場、情報発信の拠点として、また、「ほっとできるみんなの場」として、加えて、環境・福祉等の問題解決の場として注目されています。

「住みやすいまち」はみんなが作る

港北ニュータウンとして開発された中川駅周辺は、緑豊かな公園、緑道、農業地域と安全な遊歩道、地区センター



山崎公園愛護会作業風景

や地域ケアプラザの公共施設もある子育て世代、高齢者にも非常に住みやすい街です。自分の住んでいる家だけでなく、この素晴らしい環境を維持し、子供の教育や安全と高齢者や障害者にも優しいまちが、住みやすいまちと言えるでしょう。住みやすいまちは誰が作るのでしょうか。税金を使い、行政が作るのでしょうか。「NPO法人ぐるっと緑道」では、少子高齢化や多額の財政赤字、より良いまちづくりを考えると、行政に依存するのではなく、行政とも協力し、住民自ら行動する必要があると思います。

や地域ケアプラザの公共施設もある子育て世代、高齢者にも非常に住みやすい街です。

自分の住んでいる家だけでなく、この素晴らしい環境を維持し、子供の教育や安全と高齢者や障害者にも優しいまちが、住みやすいまちと言えるでしょう。

住みやすいまちは誰が

ごみやたばこの吸い殻が捨てられているまちは美観を損ねますが、住民がゴミは捨てない、ゴミ拾いをする、花壇などを作ればまちはきれいになります。中川駅周辺の具体的な活動として、公園や緑道を維持する「公園愛護会」、道路や駅前をきれいにする「ハマロードサポーター」などがあります。

また、子供の通学の見守りやコミュニティカフェも住民が自主的に住みよいまちを作っている事例です。町内会や自治会の活動も安心、安全な住みよいまちをつくる取り組みです。ちょっと参加してみませんか。

まちづくりのボランティア活動は「ぐるっと緑道 地域の活動団体の紹介」を検索ください。



中川駅前クリーン作戦

皆さん、「ぐるっと緑道」の2月イベントに参加しませんか！！

2/3(土)10時~12時	早濑川・老馬谷ガーデンの手入れ
2/17(土)10時~12時	中川ルネッサンスプロジェクト花壇の手入れ
2/21(水)10時~12時	早濑川・老馬谷ガーデンの手入れ